



感動、感謝、思いやりの心 そして「決意」が感じられた素晴らしい送る会でした！

卒業式を一週間後に控えた3月6日(金)、「三年生を送る会」が盛大に開催されました。1, 2年生にとっては、これまでお世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えると共に、第一中学校の伝統を引き継ぐ決意を固める瞬間です。また、3年生にとっては、1, 2年生や先生方、第一中学校との別れを惜しむと共に、新たなステージでの飛躍を誓う瞬間です。

送る会は、毎年大枠は決まっているものの、細かい進行やし出し物についてはその年ごとに生徒が企画、準備、運営を行います。その年の生徒や学年のカラーが反映されます。

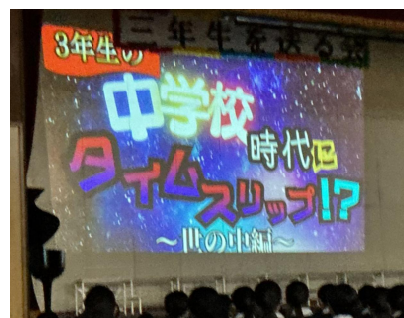
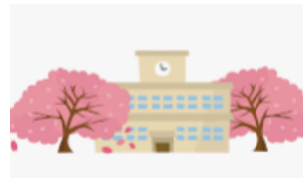
今年度のスタートは、生徒会長と生徒会本部役員による「準備はできていますか？ 盛り上がっていきましょう！」の掛け声でした。その声に全校生徒が「イエーイ」と応え、送る会を楽しみながら成功させようという思いが現れた開幕でした。

1年生は、「三年生を喜ばせ感動させろ！グランプリ」と題した出し物で、「大きなカブ」の物語をアレンジした劇や、シルエットを効果的に使用したダンスパフォーマンス、3年間を振り返るオリジナル映画などユーモアが溢れ、映像技術を駆使した見応えのある内容でした。パワー溢れる学年らしく、型にとられない自己表現が最大限に発揮された内容でした。

2年生は、3年の先生に係わる問題を出題をする「ウルトラクイズ」でした。苦手なもの、休日の過ごし方、学生時代のあだ名など先生方の意外な一面をしっかりと調査し、答えの選択肢を一捻りするなど3年生に喜んでもらえるよう緻密な計画がなされていました。また、もう一つの出し物の合唱「くちびるに歌を」は、心に太陽を持って、唇に歌を持ってメッセージ性のある歌詞で、更に曲の最初はドイツ語の歌詞で始まるなど難易度の高い曲でした。力のある2年生ならではの出し物でした。

1, 2年生の出し物や先生方からの合唱やメッセージに大いに盛り上がった3年生も、しっかりと魅せてくれました。お礼の合唱では「いまぼくに」という谷川俊太郎が作詞した曲を歌い、心も体も大きく成長した3年生ならではの歌声を聞かせてくれました。そして下級生に対して「一中を任せます、バトンを渡します」とメッセージを伝えました。

送る会に参加した保護者の方々からも「一中生、すごいな！」「一中生、やるな！」という声をいただき、卒業という別れの寂しさの中にも新たな光が見えた送る会でした。



【1年生による出し物】



【2年生による出し物】



【3年生の学年合唱】



【転出された先生方からのビデオメッセージ】